

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	36130	電話	047-769-8261
担当部課名	土木部	土木計画	課	指導 班
事務事業名	土木工事費積算事務電算処理経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	高度情報化への対応を図ります	事業開始年度
基本施策名	第1節	豊かな市民活動を実現する情報化の推進	63以前年度
施策名	第3施策	行政事務の情報化の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

なし

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
公共工事の多様化に伴い、工事積算事務の省力化により市担当職員の現場での住民対応サービス向上を図ることを目的とする。	市職員(土木技術吏員)
	対象数 150
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
工事費の積算業務や機器やシステムの運用維持管理のほか、積算基準改定年1回(7月)、基礎単価改定年4回(4月7月10月1月)の改定作業及び関連図書(神奈川県土木工事標準積算基準書等)、消耗品(プリンター用紙、トナー等)の購入。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	なし
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	主な作業7項目のうち、何項目電算で行っているか	4項目 / 7項目 × 100 57%	工法検討 概算 図面作成 数量算出 工事費計算 内 訳書作成 印刷このうち、 をシステム化している	57	57	57	57	57
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	21,118	15,412	15,981	16,241	16,241
人員・時間数	2	1	1	1	1
人件費	13,275	10,907	10,907	10,970	10,970
その他経費					
合計	34,393	26,319	26,888	27,211	27,211
特定財源	241	197	292	392	340
対象数	150	150	150	150	150
対象の単位あたり経費	229.3	175.5	179.3	181.4	181.4

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	全ての土木工事費(測量等の委託も含む)の積算はこのシステムにより行われている。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 事務の省力化として「計算」「印刷」等の反復作業を伴うものは電算システムは最も適しており また、不可欠である。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	情報化の推進の取り組みとして電算システム化は基本であり有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない この積算システムなしに現在の工事費積算事務を行うことは不可能であり、有用なシステムである。積算事務の省力化に多大に貢献している。
(5)公平性 評価 ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 単に工事費積算だけでなく、公共工事関連をはじめとするさまざまな行政情報をデータベース化等の機能を加え また、他のシステムと連携出来れば成果向上の余地はある。	手段	システムのリース期間を見て新規システムに更新することで、機器や運用の面も含めて性能の向上望め更なる省力化、事業費削減が考えられる。また、印刷量の縮減、トナー・カートリッジの再生利用により事業費を削減する。
		削減額	502 千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較 現在ではほとんどの自治体で積算事務の電算化が普及している。 また、相模原市のシステムは全国的な「積算手法の標準化」として提唱されている、「新土木積算体系」についても対応済みである。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	積算事務の電算化は、省力化に大きく貢献し現在ではなくてはならない重要なシステムである。
<input type="checkbox"/>	廃止	今後も省力化を考えながら運用し、将来の電子入札 電子決裁などのさまざまなIT化に対応させ更なる高度情報化に対応させる。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--